

[M20190312](#)-バイオメディカル計測用に 405nm レーザを発表

レーザシステム・リーダー、II-VI Incorporated は、ライフサイエンスの分析機器用に、同社のコンパクト、ローノイズ QOMO レーザシリーズの拡張を発表した。分析機器は、フローサイトメトリ、共焦点顕微鏡、バイオメディカルイメージングアプリケーションが含まれる。

既存のレーザ波長 488、638、660nm に加えて II-VI の QOMO レーザは、今回 405nm で利用できるようになった。非常に安定した、ローノイズ、II-VI の QOMO レーザの光出力は、次世代フローサイトメトリの計測感度を強め、より正確な高速計測を可能にする。

II-VI の産業用レーザグループ VP、Chris Koeppen は、「当社のレーザはフローサイトメトリで高い計測感度を可能にする。フローサイトメトリは、残留する微量のターゲット細胞、マーカーの正確な同定に極めて重要である。このレーザは、光ネットワークで数 10 年の実績をもつ高信頼で定評ある II - VI のハードウェアとソフトウェアプラットフォームに基づいている」とコメントしている。

QOMO レーザは、半導体レーザ、オプティクス、熱電冷却器(TECs)など、内製コンポーネントの垂直統合により極めてコスト効果の優れたソリューションである。レーザのスポットサイズ、ビーム形状は、幅広い分析機器設計に適合するように設定可能であり、出力は最大 150mW 達成可能である。

(source: [II-VI](#))